

## 資 料

### 都市河川 'いたち川' の護岸上に生育する植物リスト\*

太田 道人

富山市科学博物館

939-8084富山市西中野町1-8-31

### A list of the plants grow on the revetment of municipal river Itachi-gawa, Toyama City

Michihito Ohta

Toyama Science Museum

1-8-31, Nishinakano, Toyama, 939-8084, Japan

### はじめに

いたち川は、富山市南東部の西番地内で常西合口用水から分水された地点を起点とし、富山市街地中心部を北へ流れ、同市中島地内で神通川に合流する延長約16.5kmの都市河川である。上流部は農業用水として機能し、流れ下るにつれて市街地および農地からの雨水や排水の流入が増え、排水路としての役割を担うようになる。市街地中心部を流れる区間のうち、大泉本町の富山地鉄鉄橋から松川合流点までの約3km間（今回の調査範囲とする）の川幅は10m~14m程度、護岸上端から川底までの深さは4~5m程度である。松川合流点より下流側は、川幅は約20mに拡大する。

今回調査範囲の護岸上には、樹高10m前後に育ったソメイヨシノの並木があり、これに沿って設けられた散策路の花壇や植え込み、および、土入りブロックを階段状に組んだ護岸法面には、近隣住民によって盛んに花木が植栽されている。また、水やりや清掃なども住民の手で行われ、桜花の季節や夏場には散策する人も多く、市民に親しまれている川縁であるといえる。いたち川の植物については、水生植物については長井・太田（1987）、太田・坂井(1998)が報告しているが、護岸に生育する植物については、これまでにまとめられた調査報告がない。

緑の多い空間であるいたち川護岸は、ソメイヨシノの开花、シダレヤナギの柳絮の浮遊、草花の开花、樹木の紅葉、ぎんなんの落下など、景観の変化や花の咲き移りは市民の時節の話題となり、季節感にも少なからず影響を与えている環境であると考えられる。また、

線状に連続している緑地は、野生植物の生育地となりうる一方、ある地点で栽培されていた植物が上下流に拡がり、ひいては逸出して市中に広まっていく危険性も孕んでいるなど、富山市街地のフローラにも影響を与える可能性を持つ環境である。

そこで今回は、人間活動の影響が強く及んだ市街地中心部のいたち川護岸において、植物景観の変化や利用形態を知ると共に、富山市街地のフローラの基礎資料とするため、植物の生育状況を一月ごとに記録した。

### 調査方法

調査範囲は、大泉本町の富山地鉄鉄橋から松川合流点までの約3km間とし、これを調査の便宜上、下流側から10区間に区分した（図1、表1）。現地調査は、2007年7月31日、8月23日、9月22日の3回行った。対象とした植物は、明らかに人の手で植えられている状態の植物（栽培種）のほか、セイヨウタンポポやセイタカアワダチソウのように花の比較的目的立つ野生種、お



図1 調査範囲及び区間番号

\* 富山市科学博物館研究業績第354号

表1 調査区間表

区間 No.	区間内の橋などの目標物	区間 長 m	護岸とその周辺の状況
1	松川合流点→今木橋→小泉橋→花見橋	420	オフィス街。両岸には並木歩道。護岸法面は階段状、下端は矢板。
2	花見橋→月見橋→雪見橋	350	住宅街。両岸には並木歩道。護岸法面は階段状、下端は矢板。
3	雪見橋→泉橋→東橋→久右衛門橋	420	住宅街。両岸には園地状の並木歩道。護岸法面は階段状、下端は矢板。
4	久右衛門橋→このて橋→有明橋→清辰橋	330	住宅街。両岸には園地状の並木歩道。護岸法面は階段状、下端は矢板。
5	清辰橋→辰泉橋	180	地蔵尊が点在する住宅街。護岸法面は階段状、下端は矢板。左岸護岸への植え込みが特に多い。護岸から滲出水多い。
6	辰泉橋→大泉橋→大清橋→水神橋	380	住宅街。左岸護岸への植え込みが特に多い。右岸の樹木は少ない。護岸法面は階段状、下端は矢板。護岸から滲出水多い。
7	水神橋→どんどこ→双泉橋→法連寺橋	270	住宅街。両岸の樹木やや少ない。水神橋右岸に小園地。法連寺橋左岸にわんど型ビオトープ造形。
8	法連寺橋→中大泉橋	180	住宅街。右岸沿いに直線状の園地。護岸は丸石積みコンクリート。
9	中大泉橋→いたち川橋	310	住宅街。護岸は丸石積みコンクリート。
10	いたち川橋→富山地鉄橋	240	住宅街。一部に樹木があるのみ。護岸はコンクリート。上流側は川幅が狭くなる。

よび、ヨモギやアキノエノコログサのように花は目立たないが普遍的に生育し、時に群落をなして景観に少なからず影響を及ぼしている野生種とした。樹高約3m以上の樹木を「高木」、3m未満の樹木を「低木」、1m程度以下の草本を「草本」、水中に生育するものを「水生」に分け、両岸の歩道上を歩きながら、適宜双眼鏡を使用して出現種を記録した。なお、花期にあわなかった栽培種の品種名の同定はできないため、「ツツジ」、「ツバキ」のように属名であり慣例名でもある名称を使用した。

## 結果

調査範囲全体から、248種類の植物が記録された(表2)。その内訳は、植物高ごとに、高木22種類、低木74種類、草本148種類、水生4種類であった。また生育状態別では、栽培が163種類、野生74種類、栽培～野生化11種類であった。栽培～野生化とは、当初は栽培されていたと推定される植物種で、調査時には人手を離れて近隣に拡大し野生状態に移行しつつあるものを指す。このカテゴリーに含まれたものは、イモカタ

表2 植物高および生育状態別の出現種

凡例 <植物高> 高木：3m以上の樹木、低木：3m未満の樹木、草本：1m程度以下の草本、水生：水中に生育する水草。<生育状態> 栽培：栽培されているもの、野生：野生状態で生育しているもの。栽培～野生化：栽培されているものが周囲へも広がって野生化しているもの。

植物高	生育状態			計
	栽培	栽培～野生化	野生	
高木	20		2	22
低木	67	4	3	74
草本	76	7	65	148
水生			4	4
計	163	11	74	248

バミ、タカサゴユリ、サンジャクバーベナ、ハゼラン、シャガ、イヌキクイモ、ツタ、シュロ、ヤツデ、マンリョウ、アズマネザサの11種類である。

表3に、いたち川護岸上の植物の生育状況を示す。

表3 いたち川護岸上の植物の生育状況

配列は、出現区間数の多い順、さらに、科名、種名の五十音順。

凡例 &lt;植物高&gt; 高：3m以上の樹木、低：3m未満の樹木、草：1m程度以下の草本、水：水中に生育する水草。

&lt;生育状態&gt; C：栽培されているもの、野：野生状態で生育しているもの。C・野：栽培されているものが周囲へ広がって野生化しているもの。

種 名	科 名	植物高	生育状態	区間 No.										出現区間数
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ソメイヨシノ	バラ	高	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
ムクゲ	アオイ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
ガクアジサイ	ユキノシタ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
アキノエノコログサ	イネ	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
ニチニチソウ	キョウチクトウ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
サルビア	シソ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
マリーゴールド	キク	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7
イチヨウ	イチヨウ	高	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
セイタカアワダチソウ	キク	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
メランポディウム	キク	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
ヨモギ	キク	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
ツバキ	ツバキ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
ツユクサ	ツユクサ	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
ケヤキ	ニレ	高	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
アサガオ	ヒルガオ	高	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
ヤブラン	ユリ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6
メヒシバ	イネ	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
オシロイバナ	オシロイバナ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
セイヨウタンポポ	キク	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
サツキ	ツツジ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
エノキ	ニレ	低	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
シダレヤナギ	ヤナギ	高	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5
メマツヨイグサ	アカバナ	高	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
キンシバイ	オトギリソウ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
イロハモミジ	カエデ	高	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
アメリカセンダングサ	キク	高	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
オオホウキギク	キク	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
バイカモ	キンポウゲ	水	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
シュウカイドウ	シュウカイドウ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
ミゾソバ	タデ	水	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
ツツジ	ツツジ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
サザンカ	ツバキ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
ハウセンカ	ツリフネソウ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
シモツケ	バラ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
エビモ	ヒルムシロ	水	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
ヤマハギ	マメ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
ナンテン	メギ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
ネズミモチ	モチノキ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
シュロ	ヤシ	低	C・野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
シラン	ラン	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
フヨウ	アオイ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ヤマモモソウ	アカバナ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ヒオウギ	アヤメ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ヒメヒオウギズイセン	アヤメ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ヤブマオ	イラクサ	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ヤツデ	ウコギ	低	C・野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ハゼノキ	ウルシ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ヤマモミジ	カエデ	高	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
イモカタバミ	カタバミ	草	C・野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
キョウチクトウ	キョウチクトウ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ツルニチニチソウ	キョウチクトウ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
オカトラノオ	サクラソウ	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
サルビア・コッキネア	シソ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ハナトラノオ	シソ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ジンチョウゲ	ジンチョウゲ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
アベリア	スイカズラ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
サンゴジュ	スイカズラ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
エゾノギシギシ	タデ	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ミズヒキ	タデ	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
マツバギク	ツルナ	草	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
イヌホオズキ	ナス	草	野	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
シロヤマブキ	バラ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
バラ	バラ	低	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3

種 名	科 名	植物高	生育状態	区間 No.										出現区間数
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ピラカンサ	バラ	低	C		○			○			○			3
ヒガンバナ	ヒガンバナ	低	野	○	○	○								3
ヒルガオ	ヒルガオ	草	野				○		○		○			3
フジ	マメ	低	C		○	○								3
アオキ	ミズキ	低	C		○		○		○					3
サルスベリ	ミソハギ	低	C			○				○			○	3
キンモクセイ	モクセイ	低	C			○	○	○						3
ヤマノイモ	ヤマノイモ	草	野		○		○					○		3
オニユリ	ユリ	草	C		○		○				○			3
ジャノヒゲ	ユリ	草	C	○	○	○								3
タカサゴユリ	ユリ	草	C・野				○	○					○	3
ハナニラ	ユリ	草	C			○	○		○					3
モミジアオイ	アオイ	草	C			○	○							2
クチナシ	アカネ	低	C		○					○				2
アヤメ	アヤメ	草	C				○	○						2
キショウブ	アヤメ	草	C						○	○				2
キンエノコロ	イネ	草	野	○						○				2
ケイヌビエ	イネ	草	野	○		○								2
ススキ	イネ	草	野	○			○							2
カラムシ	イラクサ	草	野	○									○	2
ヘデラ	ウコギ	草	C					○	○					2
カラスウリ	ウリ	草	野	○										2
センニチソウ	オシロイバナ	草	C				○							2
カツラ	カツラ	高	C							○	○			2
キキョウ	キキョウ	草	C				○		○					2
アキノノゲシ	キク	草	野	○			○							2
オオアレチノギク	キク	草	野	○									○	2
キバナコスモス	キク	草	C				○	○						2
シオン	キク	草	C			○	○							2
ダリア	キク	草	C			○	○							2
ヒメヒマワリ	キク	草	C			○		○						2
コムラサキ	クマツヅラ	低	C			○	○							2
サンジャクバーベナ	クマツヅラ	草	C・野							○		○		2
ナワシログミ	グミ	低	C				○					○		2
シソ	シソ	草	C						○	○				2
レモンエゴマ	シソ	草	野	○		○								2
ハゼラン	スベリヒユ	草	C・野			○	○							2
モッコク	ツバキ	低	C		○				○					2
ナデシコ	ナデシコ	低	C						○		○			2
ニシキギ	ニシキギ	低	C	○				○						2
マサキ	ニシキギ	低	C	○							○			2
コデマリ	バラ	低	C	○	○									2
ビワ	バラ	低	C		○	○								2
ヤマブキ	バラ	低	C					○		○				2
カイヅカイブキ	ヒノキ	低	C		○				○					2
ヒナタイノコズチ	ヒノキ	低	野	○		○								2
コヒルガオ	ヒルガオ	草	野	○							○			2
ヤブガラシ	ブドウ	草	野	○			○							2
オオベンケイソウ	ベンケイソウ	草	C			○	○							2
クロマツ	マツ	高	C				○		○					2
ヒマラヤスギ	マツ	高	C			○	○							2
シロツメクサ	マメ	草	野							○	○			2
イヌツゲ	モチノキ	低	C						○	○				2
マンリョウ	ヤブコウジ	低	C・野			○	○							2
キチジョウソウ	ユリ	草	C							○	○			2
ギボウシ	ユリ	草	C							○	○			2
タチアオイ	アオイ	草	C					○						1
ハクチョウゲ	アカネ	低	C									○		1
ヘクソカズラ	アカネ	草	野								○			1
アカバナ	アカバナ	草	野								○			1
チョウジタデ	アカバナ	草	野	○										1
アブラナ科のピンク小花	アブラナ	草	C	○										1
カキツバタ	アヤメ	草	C						○					1

都市河川「いたち川」の護岸上に生育する植物リスト

種 名	科 名	植物高	生育状態	区間 No.										出現区間数
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
シャガ	アヤメ	草	C・野							○				1
イチイ	イチイ	低	C			○								1
オニウシノケグサ	イネ	草	野	○										1
クサヨシ	イネ	草	野										○	1
ジュズダマ	イネ	草	C		○									1
スズメノヒエ	イネ	草	野		○									1
チガヤ	イネ	草	野	○										1
フィリススキ	イネ	草	C				○							1
ムラサキエノコロ	イネ	草	野				○							1
メリケンカルガヤ	イネ	草	野						○					1
ヨシ	イネ	草	野									○		1
ヌルデ	ウルシ	低	C			○								1
エゴノキ	エゴノキ	高	野					○						1
オオバコ	オオバコ	草	野							○				1
オミナエシ	オミナエシ	草	C										○	1
イタヤカエデ	カエデ	高	C				○							1
タムケヤマ	カエデ	低	C				○							1
カキノキ	カキノキ	高	C			○								1
オキザリス・トリアングラリス	カタバミ	草	C						○					1
ムラサキカタバミ	カタバミ	草	C	○										1
アカシデ	カバノキ	高	野							○				1
ホタルブクロ	キキョウ	草	C						○					1
イエギク類	キク	草	C								○			1
イヌキクイモ	キク	草	C・野								○			1
オオオナモミ	キク	草	野	○										1
オニタビラコ	キク	草	野						○					1
セイヨウノコギリソウ	キク	草	C	○										1
チチコグサ	キク	草	野							○				1
チチコグサモドキ	キク	草	野						○					1
ツワブキ	キク	草	C				○							1
ノコンギク	キク	草	野	○										1
ノボロギク	キク	草	野							○				1
ハキダメギク	キク	草	野								○			1
ヒメムカシヨモギ	キク	草	野										○	1
ベニバナコウリンカ	キク	草	C						○					1
マンデビラ・アモエナ(ロースジャイト)	キョウチクトウ	低	C						○					1
シロシキブ	クマツヅラ	低	C			○								1
ナツメ	クロウメモドキ	低	C			○								1
ヤマグワ	クワ	低	C			○								1
カラー	サトイモ	草	C					○						1
アキノタムラソウ	シソ	草	C		○									1
サルビア・グアラニチカ(黒紫花)	シソ	草	C						○					1
サルビア・ラズベリーロイヤル	シソ	草	C			○								1
マルバハッカ	シソ	草	野			○								1
ハナスベリヒユ	スベリヒユ	草	C	○										1
パセリ	セリ	草	C		○									1
アズマネザサ	タケ	低	C・野					○						1
クロチク	タケ	低	C				○							1
ヤダケ	タケ	高	C										○	1
オオイヌタデ	タデ	草	野	○										1
オオケタデ	タデ	草	C							○				1
ギシギシ	タデ	草	野						○					1
ハナタデ	タデ	草	野								○			1
ヒメツルソバ	タデ	草	C										○	1
ボンドクタデ	タデ	草	野						○					1
アセビ	ツツジ	低	C			○								1
ハマヒサカキ	ツバキ	低	C							○				1
ヒサカキ	ツバキ	低	C			○								1
オオムラサキツユクサ	ツユクサ	草	C									○		1
トラデスカンティア	ツユクサ	草	C				○							1
ヤブミョウガ	ツユクサ	草	C				○							1
アカメガシワ	トウダイグサ	草	野			○								1
イヌドクサ	トクサ	草	野	○										1

種 名	科 名	植物高	生育状態	区間 No.										出現区間数
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ドクダミ	ドクダミ	草	野	○										1
アカナス	ナス	草	C								○			1
チョウセンアサガオ	ナス	草	C								○			1
ホオズキ	ナス	草	C				○							1
カワラナデシコ	ナデシコ	草	C			○								1
スイセンノウ	ナデシコ	草	C								○			1
アキニレ	ニレ	高	C							○				1
ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ	低	C			○								1
アンズ	バラ	高	C		○									1
エドヒガン	バラ	高	C						○					1
カジイチゴ	バラ	低	C					○						1
カナメモチ	バラ	低	C	○										1
カマツカ	バラ	低	C		○									1
シモツケソウ	バラ	草	C				○							1
ズミ	バラ	低	C		○									1
ナナカマド	バラ	高	C							○				1
ニワナナカマド	バラ	低	C		○									1
ノイバラ	バラ	低	C			○								1
コノテガシワ	ヒノキ	低	C									○		1
ヒムロ	ヒノキ	高	C				○							1
ケイトウ	ヒユ	草	C				○							1
ルコウソウ	ヒルガオ	草	C				○							1
ヤナギモ	ヒルムシロ	水	野	○										1
フジウツギ	フジウツギ	低	C			○								1
ツタ	ブドウ	草	C・野			○								1
ノブドウ	ブドウ	草	野		○									1
スダジイ	ブナ	高	C							○				1
ツルマンネングサ	ベンケイソウ	草	野									○		1
イヌマキ	マキ	低	C			○								1
アカマツ	マツ	高	C			○								1
ゴヨウマツ	マツ	草	C	○										1
コマツナギ	マメ	草	野									○		1
シロバナハギ	マメ	草	C			○								1
ツルマメ	マメ	草	野										○	1
ネムノキ	マメ	低	野						○					1
ハナズオウ	マメ	低	C					○						1
ムラサキツメクサ	マメ	草	野		○									1
メドハギ	マメ	草	野	○										1
ヤブツルアズキ	マメ	草	野										○	1
マンサク	マンサク	低	C							○				1
サンショウ	ミカン	低	C					○						1
サルスベリ (矮性型)	ミソハギ	草	C	○										1
ミソハギ	ミソハギ	草	C				○							1
フウセンカズラ	ムクロジ	草	C				○							1
ヒイラギナンテン	メギ	低	C	○										1
イボタノキ	モクセイ	低	C			○								1
ヒイラギ	モクセイ	低	C	○										1
レンギョウ	モクセイ	低	C	○										1
タイサンボク	モクレン	高	C				○							1
ハクモクレン	モクレン	低	C							○				1
ウンリュウヤナギ	ヤナギ	低	C						○					1
ネコヤナギ	ヤナギ	低	野							○				1
ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ	草	野								○			1
アジサイ	ユキノシタ	低	C	○										1
コオニユリ	ユリ	草	C										○	1
ノカンゾウ	ユリ	草	C		○									1
ハラン	ユリ	草	C				○							1
ホトトギス	ユリ	草	C			○								1
ネジバナ	ラン	草	野							○				1
総 計				74	65	81	84	42	44	52	39	27	29	



## 花暦

沿線住民の季節感に影響を及ぼしている可能性のある、花または果実の比較的目的立つ植物の開花・結実時期を花暦に表した(表4)。掲載種は、表3で4区間以上に出現した植物種としたが、花壇や植え込みにおいては雑草として扱われ、花も目立たない野生種のアキノエノコログサ、ヨモギ、メヒシバ、シュロ、および水生植物のエビモは除外した。

4月に高木のソメイヨシノが全区間で開花することを筆頭に、よく植栽されているものとして、6・7月に9区間で開花する低木のガクアジサイ、8・9月に9区間で開花する低木のムクゲが挙げられる。また、草本のニチニチソウ(8区間、以下数値のみ表記)、サルビア

(8)、マリーゴールド(7)、メランポディウム(6)が草本としてよく植えられており、現地調査においてはよく目についた。ツバキ(6)、ケヤキ(6)、アサガオ(6)、ヤブラン(6)も比較的良好に栽培されている。特筆すべきはやはりソメイヨシノで、どの区間においても少なからず並木状に生育していることから、本種はいたち川護岸の景観には最も大きな影響を及ぼしている植物であると言える。

なお、今回は春季調査が行われていないので、セイヨウタンポポ、ツツジ類の出現区間数が少なめに出ている可能性がある。今後の春季調査の必要性が指摘される。

表4 いたち川護岸上の植物花暦

凡例 ○：花が目立つ、◇：果実が目立つ

種名	植物高	栽培／野生	目立つ時期								区間 No.										出現区間数
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ソメイヨシノ	高	C	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
シダレヤナギ	高	C	○	◇							○	○	○	○	○						5
ツバキ	低	C	○	○							○	○	○	○	○		○				6
セイヨウタンポポ	草	野	○	○								○			○	○	○	○			5
ケヤキ	高	C		○								○	○		○	○				○	6
エノキ	低	野		○							○	○	○	○					○		5
イロハモミジ	高	C		○				◇				○		○				○	○		4
ツツジ	低	C		○										○	○			○			4
ネズミモチ	低	C		○					◇			○	○		○	○					4
シラン	草	C		○							○		○	○		○					4
サツキ	低	C			○						○	○	○	○			○				5
ナンテン	低	C			○						○	○	○	○							4
ガクアジサイ	低	C			○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○		9
キンシバイ	低	C			○	○						○	○	○	○						4
ツユクサ	草	野			○	○	○	○			○		○	○		○	○		○		6
バイカモ	水	野			○	○	○	○									○	○	○	○	4
ムクゲ	低	C				○	○				○	○	○	○	○	○				○	9
ニチニチソウ	草	C				○	○				○	○	○	○	○	○			○		8
サルビア	草	C				○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		○		8
マリーゴールド	草	C				○	○				○	○	○	○	○	○	○				7
メランポディウム	草	C				○	○	○	○			○	○	○	○	○					6
アサガオ	草	C				○	○					○	○	○			○				6
ハウセンカ	草	C				○	○				○		○	○						○	4
シモツケ	低	C					○				○			○			○				4
メマツヨイグサ	草	野					○	○				○						○	○	○	4
ヤマハギ	低	C					○	○			○	○	○				○				4
ヤブラン	草	C						○	○			○	○	○	○		○		○		6
オシロイバナ	草	C						○	○		○		○	○	○						5
シュウカイドウ	草	C						○	○		○	○	○							○	4
セイトカアワダチソウ	草	野						○	○		○	○		○			○		○	○	6
イチヨウ	高	C						◇			○	○	○	○						○	6
アメリカセンダングサ	草	野						◇			○							○	○	○	4
オオホウキギク	草	野							○								○	○	○	○	4
ミゾソバ	水	野							○		○								○	○	4
サザンカ	低	C							2・3月		○	○			○		○				4

**参考文献**

- 長井真隆・太田道人. 1987. いたち川の水生植物. 富山市科学文化センター研究報告 (10). 9-12.
- 太田道人・坂井奈緒子. 1998. いたち川の水生維管束植物 (1995-97). いたち川自然環境調査報告. 富山市科学文化センター. 43-51.